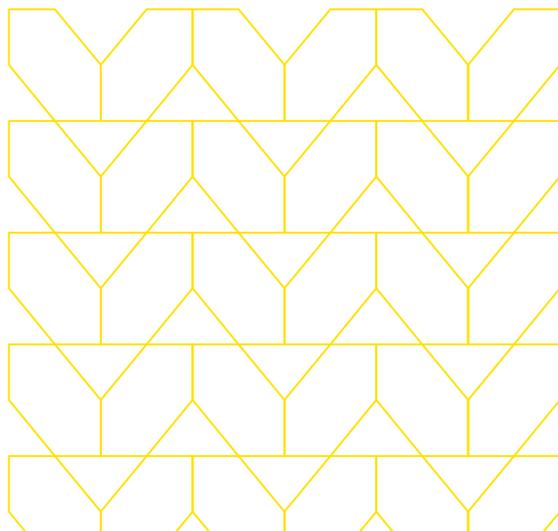


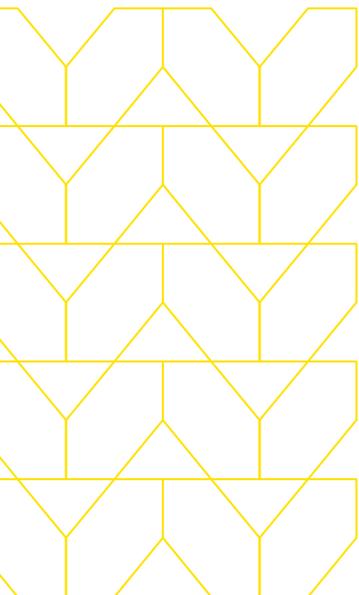
クラウドの リスクを排除

アイソレーションベースのアプローチによって
データ漏洩防止 (DLP) が実装されていれば
機密データがネットワーク外に漏れることはありません



Solution Brief

現代の業務は分散されており、 共働作業が前提で、リスクを孕んでいます



現代においては、SaaS (Software-as-a-Service) プラットフォームと共働作業を前提とした強力なクラウドアプリケーションを使って、リモートから業務を行うことが一般的になっています。ユーザーは、ターゲットマーケットに近いリモートオフィス、お客様の施設内、ホームオフィス、あるいは公共のWi-Fi経由のコーヒーショップなど、どこにいても業務を遂行したいと考えています。現在、自宅から仕事をしている人の数は以前の3~4倍に上ると推定されています。¹ ミッションクリティカルなシステムとデータをデータセンターからクラウドに移動すると、従業員がビジネスを遂行するために必要なツール、アプリ、データが分散化されます。確かに、ユーザーはインターネットへの接続さえあればどこからでも情報を作成し、アクセスして編集できるようになりましたが、セキュリティチームは突然、この新しいマイクロサービスの世界においては組織に流入・流出するWebトラフィックを監視および制御できなくなっていることに気づきました。

個人を特定できる情報 (PII)、顧客データ、患者データ、およびその他の機密情報を特定して保護できないと、データが偶然または悪意によって流出した場合に、組織は潜在的にコストのかかる、または不名誉なデータ漏洩のリスクにさらされます。

¹[McKinsey Global Institute](#),
“What’s next for remote work: An
analysis of 2,000 tasks, 800 jobs,
and nine countries”

²[IBM Security](#), “Cost of a Data
Breach Report 2020”

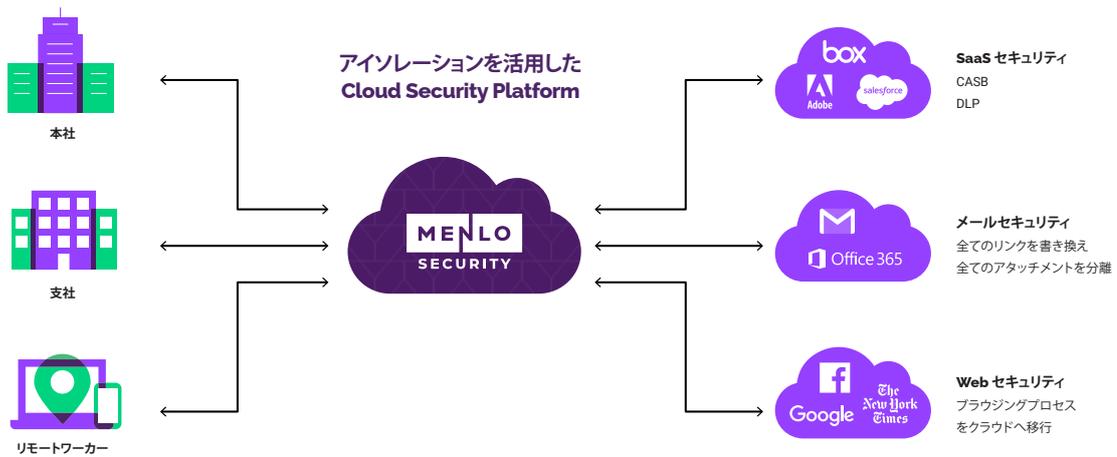
データ侵害による平均コストは、2020年に386万ドルに上ったと推定されています。² すべてのトラフィックをデータセンターの集約ポイントを経由するようにルーティングすると、パフォーマンスが低下します。しかしアプライアンスを使ってリモートユーザーにローカルなインターネットブレイクアウトを提供することは、アーキテクチャ上不可能であり、コスト的にも許容できません。

**Webベースのアプリ、Webサイト、および
SaaSプラットフォームを利用しているモバイルユーザーを保護するための唯一の方法は、クラウドを介してセキュリティサービスを提供することです。**

クラウドセキュリティでは、ユーザーがログインしてくる場所に関係なく、ポリシーが確実に適用されます。これは、すべてのWebトラフィックが流れ込むクラウドに、まったく別のユビキタスなセキュリティレイヤーを挿入することで実現できます。このレイヤーで、データ漏洩防止 (DLP) などのセキュリティポリシーを各ワークロードに確実に適用することができるのです。ユーザーがファイアウォールの背後にいても、パブリックWi-Fiからログインしていても、関係ありません。

メンロ・セキュリティのアイソレーションを活用したCloud PlatformがCloud DLPを提供

メンロ・セキュリティのCloud Data Loss Prevention (Cloud DLP) ソリューションは、ユーザーとインターネットの間にあるクラウドにアイソレーションレイヤーを挿入することにより、機密データが組織から流出するのを識別して阻止します。これによりセキュリティチームは、世界中のすべてのユーザーにデータプライバシーポリシーをシームレスかつ一元的に適用できます。トラフィックがCloud Platformを通過する際に、疑わしいデータ転送はその接続点で阻止されます。



メンロ・セキュリティのCloud DLPは、機密と考えられる特定のデータタイプを最初に識別してタグ付けします。このデータは、ファイル (Excelスプレッドシートなど) を使うことも、ブラウザのWebフォームを介してユーザーが入力することもできます。このデータは、カスタム定義またはライブラリ内の300を超える任意の数のデータ型と比較されます。Cloud DLPはデータが移動する経路全体を制御し、JavaScriptの操作や難読化に関係なく、すべての送信データを確実に監視します。

これによりCloud DLPは、メールのコピー、添付ファイル、ブラウザの送信フォームなどから発生する潜在的なデータ漏洩を観測することができます。

メリット



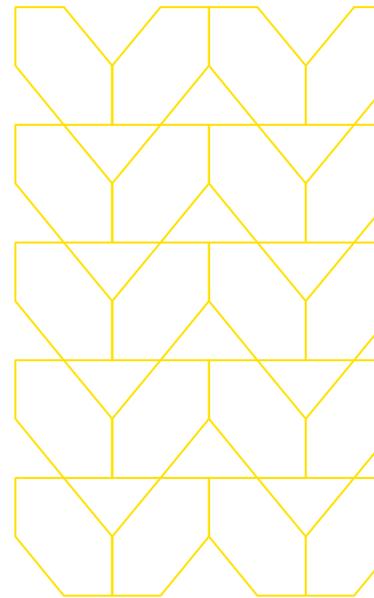
機密情報がメールの添付ファイルやブラウザの送信フォームを介して流出するのを防ぎます。



HIPAA、PCI、GDPRなどのデータプライバシー法へのコンプライアンスを強化します。



マルチテナントのダッシュボードを使って、データ保護ポリシーを簡単かつ一元的に設定して適用します。



機密データをより適切に監視することにより 業務を保護

Cloud DLPにより、データポリシーを外部へ流出するすべてのWebトラフィックに一元的に適用することができ、偶発的または悪意によるデータ漏洩から組織を保護できます。メンロ・セキュリティは、コストやITの複雑さを増加させたり、アクセスを制限したり、エンドユーザーのネイティブなブラウジングエクスペリエンスに影響を与えたりすることなく、データを保護します。これにより、共同作業を行いながらのシームレスなクラウドトランスフォーメーションが可能になります。

生産性を保護し、進歩を妨げることなくビジネスを安全に実現する方法を見つけてください。詳細については、ask@menlosecurity.comへお問い合わせ下さい。



お問い合わせ：
www.menlosecurity.jp
japan@menlosecurity.com



Menlo Securityについて

メンロ・セキュリティは、他に類を見ないアイソレーションを活用したクラウドセキュリティプラットフォームにより、企業が脅威を排除し、生産性を完全に維持することを可能にします。メンロ・セキュリティは、悪意のある攻撃を防ぐために最も安全なゼロトラストアプローチを提供し、エンドユーザーはセキュリティの存在を気にせずにオンラインで仕事を行うことができ、さらにセキュリティチームの運用負担を軽減することで、クラウドセキュリティの目標を実現できる唯一のソリューションとなっています。これにより企業は安全なオンライン体験を提供することができ、ユーザーは安心して業務を行いビジネスを進めることができます。